

藝文友の会会員ふれあい催事

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

スペシャルゲスト：北村英治 & フライン'キャブ

Toshio Mori Blue Coats Orchestra



期日 ● 平成27年 7月22日(水) 開場18:00 開演18:30

会場 ● 神栖市文化センター

主催 ● 公益財団法人常陽藝文センター

協賛 ●  常陽銀行 **80th**

おかげさまで80周年。ともに未来を創ります。

Program

MOON LIGHT SERENADE	ムーンライト・セレナーデ
IN THE MOOD	イン・ザ・ムード
STARDUST	スターダスト
LULLABY IN RAGTIME ~ FIVE PENNIES	ラグタイムの子守唄~五つの銅貨
LET'S DANCE	レッツダンス
MEMORIES OF YOU	メモリーズオブユー
SING SING SING	シングシングシング
TAKE THE A TRAIN	A列車で行こう
ITS' DONE MEAN A THING	スイングしなけりゃ意味が無い
CARABAN	キャラバン
	その他

☆曲名・曲順が変更になる場合もございますので、ご了承願います。 ☆公演時間は休憩を含む概ね120分間の予定です。

Profile

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Toshio Mori & Blue Coats Orchestra

現在活躍中のビッグバンドの中で、最も永い歴史を刻んでいるブルーコーツの原点は、1935年当時の大学生によって作られたバンドが母体となっている。

その後第二次大戦で一時中断するが、1946年にジャズ好きの六大学OBによって再結成され後に「ブルーコーツオーケストラ」として発展し、現在まで脈々と永い歴史と伝統を刻んでいる。

その伝統には上品でアカデミックなサウンドが受け継がれていて、黛敏郎・笈田敏夫・秋吉敏子等、数多くの有名な音楽家を輩出している。

1970年 藝大出身の森寿男が3代目リーダーを引き継ぎ、その伝統を継承すると共にカウント・ベーシー、デューク・エリントンの精神とフィーリングを追求し、音楽を通じて人の心に語りかける温かいサウンド作りを目標にして活動を続けている。

現在のブルーコーツは、全国各地のジャズコンサートを始め、学校公演やファミリーコンサート等で活動、ビッグバンドジャズの王道を往く

演奏を展開している。

1995年6月、グレン・ミラーの生誕地(アメリカ・アイオワ州クラリダ)で開催された【グレン・ミラー フェスティバル】に招聘され渡米、現地の熱烈な歓迎を受け絶賛を博した。

2004年1月リーダーの森寿男が、ジャズ界の大賞と言われる南里文雄賞を受賞。

それを記念してブルーコーツの長い歴史をまとめた【ジャズに情熱をかけた男たち /ブルーコーツ70年】(瀬川昌久著)の本が出版された。

1946年から数えて65年を迎えたブルーコーツは2010年11月23日【ブルーコーツ結成65年・森寿男 & ブルーコーツ40周年記念リサイタル】を日比谷公会堂で開催。65周年記念アルバム「65th ANNIVERSARY スイングしなけりゃ意味がない」のCDも発売され注目を集めた。

今年結成70周年、森寿男 & ブルーコーツ45周年を迎え、メンバー一同新たな歴史に向かって、益々幅広い演奏活動を続けている。

森寿男 & ブルーコーツオーケストラ

Conductor : 森 寿男

Trumpet : 羽毛田 耕士 寺島 基文 篠原 国利 上石 統

Trombone : 岩崎 敏信 内田 日富 小林 稔 渡辺 亮

Alto Sax : 今野 菊治 清水 洋之助

Tenor Sax : 田辺 信男 内山 正博

Baritone Sax : 五十井 梧楼

Piano : 池野 美音

Bass : 小高 正志

Drums : 阿野 次男



北村 英治
Eiji Kitamura
(Clarinet)

1929年東京都生まれ。

慶応大学在学中にクラリネットを学び、1951年南部三郎クインテットでプロデビュー。

1954年に自己のバンドを結成し、以来国内外でのコンサート、ディナーショー、ラジオ・テレビ出演等、幅広い演奏活動を行っている。

デキシーからモダンシングまでをこなし、クラシック曲にも挑戦するなど前進を続けている。演奏会では木管の暖かく深みのある音色と独特のフレーズで聴衆の心を豊かに満たし、曲間のお喋りでも大いに楽しませてくれる。1977年モンタレージャズ祭(米国)に招かれ大好評を博し、以来アメリカはもとより、ヨーロッパ、オーストラリア等の大ジャズ祭に数多く出演し、世界的ジャズクラリネット奏者として活躍している。

2007年4月 旭日小綬章受章



堀江 真美

佐藤 マサノリ

フライン'キャブ
Flyin' Cab
(Duet)

1980年代に活躍、戦後のナイトクラブ時代をもっとも色濃く継承したおしゃれでユニークな本格派デュエット。

それぞれがソロシンガーとして実力派。

そのアドリブ能力の高さや多彩な音楽性で人気を博す。

スイングの名曲はもとよりバップスキャット、ジャイブナンバーなどがクラブシーンを賑わす。

平成期に入り佐藤は音楽プロデューサーとして手腕を発揮。

堀江は作編曲ピアニストとして映画、放送界音楽番組で卓越した個性で活躍、多くのヒット曲に関わる。

2010年のブルーコーツ65周年記念アルバム制作プロデュースをまかされた佐藤マサノリがバンドシンガーとして復帰と同時にデュエットFlyin'Cabも再開。

20世紀ジャズ黄金時代の再興を目指している。